

広報九州



国民の森林・国有林

平成30年4月10日
(2018年)

No.1754

九州森林管理局

〒860-0081
熊本市西区京町本丁2-7
IP電話:050-3160-6600(代表)
<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

地域管理経営計画等の樹立及び変更に係る 有識者懇談会を開催

～7森林計画区の樹立・24森林計画区の変更に対する意見を聴取～



森林計画区の樹立・変更に対する意見を聴取した有識者懇談会

当局では、「国有林野の管理経営に関する法律」などに基づき、地域管理経営計画と国有林野施業実施計画の樹立及び変更に係る有識者懇談会を、3月2日に開きました。

2017年度は、佐賀西部森林計画区(佐賀署)をはじめとする、7つの森林計画区において計画の樹立が、また、遠賀川森林計画区をはじめとする24の森林計画区で、計画の変更が予定されていることから、各有識者委員より意見をいただきました。

懇談会では、冒頭、当局原田降行局長より、本懇談会の目的、林野行政の動向、今後取り組むべき課題などについての紹介とともに、計画の樹立・変更案に

対し忌憚のないご意見を賜りたいたとの挨拶がありました。

その後、九州大学大学院の吉田茂二郎教授を座長に、「地域管理経営計画の策定等について」及び「九州国有林から林業の新しい風を」の2つの議題について、予定時間を延長し多くの意見をいただきました。

1つ目の議題では、「伐採総量の増加と収支との関係」「長期育成循環施業の目的」「植栽本数の変更理由」「新たな施業方法の科学的検証の必要性」などについて論議。

2つ目の議題では、「高性能林業機械の稼働率の向上」「早生樹の導入」「広葉樹の用途拡大」「造林事業体の労働力不足」「国民へのアピール」などについて、それぞれ活発な論議が行われました。

最後に、当局林視計画保全部長より「今後、委員の皆様からいただいた貴重なご意見を踏ま



挨拶を行う原田局長

え、取り組みを更に強化する」と決意の挨拶があり、有識者懇談会を終了しました。

(担当＝計画課)



有識者懇談会において意見を述べる各委員



座長の吉田教授

間伐・再造林推進コンクール表彰式を開催

◆長官表彰1社・局長表彰3社及び指導・監督森林管理署を表彰◆

平成29年度国有林間伐・再造林推進コンクールの表彰式を九州森林管理局で行いました。

本コンクールは、国有林野事業で実施した間伐、主伐・再造林及び立木販売において、法令の遵守、安全の確保及び担い手の育成に積極的に取り組むとともに、高い生産性を達成した優れた事例を表彰するものです。

今年度は、東部林業株式会社（佐賀県佐賀市）が実施した事例が、林野庁長官表彰の最優秀賞を、株式会社西部林業（佐賀県嬉野市）、株式会社M.C.河津（大分県日田市）及び大成木材株式会社（大分県大分市）が実施した事例が、九州森林管理局長表彰の優秀賞を受賞されました。

また、林野庁長官表彰を受賞した、東部林業株式会社（佐賀）の指導・監督を行った、佐賀森林管理署（監督職員 津川敏之首席森林官）についても表彰されました。



コンクール受賞者の皆さんと

今年度の受賞ポイントとしては、長官表彰に輝いた東部林業株式会社は、「集材作業効率を考慮した作業システムの計画・実行と苗木運搬の工夫による生産・造林コストの縮減」が高く評価されたものです。

また、局長表彰を受賞された3社については、「リモコンウインチ付きフェラーパンチャの活用

による安全性及び生産性の向上」「既設作業道を活用したタワヤーダの利用による集材作業効率の向上」「各工程時の工夫における作業効率の向上」及びそれぞれ高く評価されたものです。

表彰式終了後には、受賞者へ交えた意見交換会を実施し、生産性の向上や再造林コストの削減などについて、意見を交わしました。

九州森林管理局では、ホームページに受賞事例の概要を公表し、民有林を含めた九州一円への普及・推進を図っていくこととしています。

（担当 資源活用課）

交通安全優良事業所として表彰状を授与

【宮崎森林管理署】3月1日、当署は、宮崎北警察署並びに宮崎北安全運転管理者等協議会より、「交通安全優良事業所」に選定され、表彰状を授与されました。

当署では、安全運転5原則（①安全速度を必ず守り、特に林道では路面状況に応じた安全運転を行う。②カーブの手前ではスピードを落とす。③交差点では必ず安全を確認する。④一時停止で横断歩行者の安全を守

る。⑤飲酒運転及び酒気帯び運転は絶対にしない。）を掲げるなど、安全運転への取り組みを進めてきたところです。

また、職員が運転中に体験したヒヤリ事例や、宮崎北地区交通安全協会提供の交通情勢を職員間で共有するなど、安全運転への意識の啓発にも努めています。

この表彰を機に、今後も当署の無事故・無違反が継続できるように、さらなる取組を行うこととしています。



授与された表彰状

沖縄地区官庁オープンセミナーを実施

【沖縄森林管理署】3月6日、当署において、国家公務員の職務に関心のある学生などを対象とした、オープンセミナーを実施



職務内容の説明を行う永田次長

施しました。

このセミナーは、国家公務員に関心のある学生などが、沖縄県内に所在する国の機関を直接訪問し、職場見学や現役職員との意見交換を通して、公務の重要性や国民生活との関わりを直に感じ取ることで、公務への関心を高めるとともに、国家公務員採用試験を受験する意欲を喚起することを目的として、各機関で行われたものです。

当日は、琉球大学の学生など8人がセミナーへ参加、当署職員から林野庁の職務内容などについて説明を受けました。この取組を契機として、参加者に林野庁で働くイメージを持ってもらい、一人でも多くの方が林野庁の採用試験を受験して頂ければ幸いです。

第4回国有林材供給調整検討委員会を開催

〜現時点での供給調整は要しないとの検討結果〜

3月9日、本年度4回目の「国有林材供給調整検討委員会」を開き、各委員がそれぞれの専門分野からの意見を述べ、現時点での供給調整は要しない」との検討結果となりました。



供給調整について検討を行った委員会の模様



専門分野からの意見を述べる各委員

各委員からの主な意見は次のとおりです。

○最近では誤伐・盗伐問題がクローズアップされている▼防止のためには山主と境界を確認して確実に同意をもらうことが必要▼素材生産業は人材不足ではあるが、労働安全の規制強化など、人を雇用してもクリアしなければならぬことが多い▼木材は今後ますます供給を増やす必要があるが、原木の規格や価格に

ついて、安定供給が可能なものとする必要がある。○原木価格は年が明けても高値が続いており、山から材もある程度出ている▼北米のSPF材の高騰により、国産2×4材への需要が高まっている▼さらなる普及にあたっては、供給体制をしっかりとしたものとする必要がある▼地域を中心としたサプライチェーンを築き、合理化を図りながら取り組んでいきたい。○建設現場は年度末で公共工事を中心に、工期を伸ばせない現場が多く、大工の取り合いとなっている▼国産製材品への代替需要が聞かれるようになったが、

輸入材の価格上昇によるところが大きく、一過性のものにせず定着させなければならぬ。

○宮崎県の製材業者の原木集荷は直送が多く、市場に原木が増えてこない▼2月に入り原木価格は直材を中心に下がり始めた▼3月は新規需要がほとんどないため、市場買いを中心とする中小の製材業者の購入量が減り、原木価格が下がることで、製品価格にも影響が出ることが懸念される。

○合板不足が続いており、工場は24時間フル操業している▼住宅メーカーからは、年内は受注があるという話も聞こえており、当分の状態が続くのでは▼原木の入荷状況はようやく落ち着いたが、各地で大型工場が増設される影響もあり、B材の取り合いが見受けられる。

○2月末のチップ用原木の在庫は低水準にある▼寒波の影響で山からの出材量が減ったほか、輸出やバイオマス向けに流れる材が多く、原木集荷に苦戦している▼今後は持山からの集荷も増やす必要がある。

(担当)地域木材情報分析官)

森林整備推進協定第2回運営会議を開催

【屋久島森林管理署】3月16日、



活発な意見交換が行われた運営会議

鹿兒島県屋久島事務所会議室において、屋久島地域森林整備推進協定の平成29年度第2回運営会議を開き、当署、屋久島町、県森林整備公社、屋久島森林組合及びオプザバーとして、県熊毛支庁林務水産課及び屋久島事務所農林普及課、島内の林業・木材産業関係者を含む23人が参加しました。

会議は、当署植薄和彦森林技術指導官の司会進行により、川畑充郎署長の挨拶の後、各協定者から2017年度の実績報告及び、18年度の事業計画に向けた取組方針の報告がありました。続いて、植薄指導官から17年度の屋久島における主伐・再造林の取組について、本年度に民間連携して実施した植栽や苗木生産の研修会の状況、ヤクスギ

の種子採種や苗木造成の状況などについて報告があり、質疑では屋久島林業のさらなる発展に向けた課題などについて、活発な意見交換が行われました。

また、運営会議に先立ち、第2回屋久島地杉苗木生産協議会も開かれ、屋久島地杉加工センターが、5者目として新たに新規加入することが承認されるとともに、情報提供として、屋久島森林生態系保全センターの奥村克生生態系管理指導官より、コンテナ苗の育苗試験の経過報告などがありました。

運営会議後には、本年度第3回屋久島林業推進検討会(県主催)も開かれ、本年度新たに指導林業士になった橋口猛氏へ認定証を伝達するとともに、県担当者から新たな森林管理システム、17年度の間伐実績についての説明がありました。

また、4月に開催される「ふるさと産業まつり」に、初めて検討会会員が協力して参加することが決定し、それに併せて「チーム屋久島」のオリジナルTシャツを作成・着用して参加することが決定されました。

来年度も、屋久島は一つとなつて、民間連携した各種取組を実施していくことが確認されました。

第5回保護林管理委員会を開催

◆森林生態系保護地域の拡充(案)等について意見を聴取◆

2月26日、今年度最後となる5回目の九州森林管理局保護林管理委員会を開きました。

冒頭、当局原田隆行局長が「懸案であった、やんばる森林生態系保護地域については、平成29年12月26日付けで設定することが出来た。今回は、前回委員会で保留された案件や、モニタリングの今後の進め方についてご意見をいただき、来年度に向け我々もしっかりと取り組んでいきたい」と挨拶。

その後、事務局から「綾森林生態系保護地域の拡充(案)」「平成30年度保護林モニタリング調査項目(案)」「平成29年度保護林モニタリング調査結果」「猪八重地区における保護林の設定」について説明が行なわれました。



挨拶する原田局長

綾森林生態系保護地域の拡充(案)については、前回委員会の審議内容を踏まえた拡充(案)を提案し、審議の結果了承されました。

平成30年度保護林モニタリング調査項目(案)については、委員から「シカ被害については、環境省や県など関係機関とも連携を図り、広い視点で対策を講じること」「シカ被害対策については、保護林内においても確実に実施・検証を行うこと」「保護林ごとに調査目的や結果を踏まえた検証を行い対策を講じること」「希少個体群保護林は、個体として保護するか、森林全体として保護するかなど取扱い方針を明確にすること」

「評価期間を過去10年間にするなど、長期的な状況変化が見えるよう検討すること」「保護林の名称は、重要な保護樹種を主体とした名称に変更すること」などの意見をいただき、それらを十分に踏まえて調査することを前提に了承されました。



保護林設定等について意見委員会の模様

平成29年度モニタリング調査結果については、「希少個体群保護林には、林木遺伝資源保存林由来と植物群落保護林由来があり、保護する範囲が異なるので、保護対象を明確にすること。また、周辺保護林と統合し、生物群集保護林への格上げを検討すること」などの意見や、シカ被害対策として、①シカの被害レベルに応じた対策を検討し、優先順位をつけて保護策等の対策を行うこと、②県などと連携を図り、シカの移動経路や行動圏を把握した上で生息域の縮小を目標にしつつ、国有林内の特定地点で囲み捕獲など集団的に捕獲する手法も検討することな

どの意見をいただき、来年度の第1回委員会において、今回の意見を踏まえた、管理方針書の変更案を提案することとされました。

猪八重地区における保護林の設定については、隣接するレクリエーションの森の一部を含めることについて、地元レクリエーションの森協議会などの意見も踏まえて判断することとし、継続審議となりました。

今後は、いただいた意見などを加味しつつ、モニタリング調査やシカ対策及び保護林設定などに取り組んでいくこととされています。

(担当)計画課

小学校で木と子供の木工教室を開く

【西都児湯森林管理署】2月22日、ケーススタディー地区の木城町立木城小学校において、「木と子供の木工教室」を開きました。

当日は、小学5年生49人を対象に、当署及び木城町役場、宮崎県児湯農林振興局、児湯広域森林組合で構成される「木城町森林づくり活性化推進チーム」による、木工品(木製本立・木製イス)の作成を行いました。木製本立作りでは、参加した



森林とのふれあいを深めた木工教室

子供達1人ひとりに、オリジナリティー豊かな作品を作ってもらうため、事前に側板を渡し、好きな絵を描いてもらいました。釘打ちなどの慣れない作業もありましたが、みんな一生懸命に取り組んで、本立を完成させることができました。

次に、木製イスの組み立て作業に取りかかり、子供達は自分達で組み立てる順番を考え、意見を出し合い、作業を楽しみながら木製イスを完成させることができました。

この木城町森林づくり活性化推進チームの活動は、小学校の授業の一環として、「森林」とのふれあいを深め、将来を担う子供達の、人材育成への取組として期待されています。

銘木市へ土埋木を出品

【屋久島森林管理署】3月5日、

鹿児島県木材銘木市場において銘木市が開かれ、当署からも本年度2回目の委託販売として、屋久杉土埋木約50立方メートルを出品しました。

当日は、鹿児島県内外から各種銘木が出品され、全国から多くの買方者が参加する中、銘木市場の柴立鉄彦代表理事の開会挨拶、当局的松葉瀬裕之森林整備部長の来賓挨拶の後、銘木市のメインとして極積みされた、屋久杉土埋木の競りが始まり、競り子の威勢の良い掛け声とともに、次々と競り落とされていきました。

その結果、最高値は本年度の最高単価となる、立方メートルあたり



全国の買方者が参加した銘木市

360万円の値がつくとともに、平均入札単価は、立方メートルあたり約66万円で取引されました。

当署では、屋久杉土埋木が貴重で限りある資源であることから、少しでも細く長く生産・販売が出来るように取り組むとともに、引き続き屋久杉人工林の需要拡大についても、関係機関と連携しながら取り組み、収入確保に努めていく考えです。

健やかに育てと願い込め 津屋崎地区植樹祭開催

【福岡森林管理署】3月3日、

福岡県福岡市の今川国有林内松林において、「津屋崎地域郷づくり推進協議会」などの主催により植樹祭が行われ、津屋崎地区の家族連れや津屋崎中学校剣道部員など約150人が参加し、クロマツ苗の植樹を行いました。福岡市では、2007年頃から松くい虫による松枯れが目立つようになり、津屋崎地区の海岸松林でも多くのマツが失われてしまいました。

このようなか、08年頃から地元津屋崎地域郷づくり推進協議会が主体となり、毎年クロマツの植樹を行うとともに、松林の清掃活動や藪刈りなどの手入れを行い、海岸松林の再生と環境美化に取り組んでおり、最初

の頃に植えられたクロマツは、すでに見上げるほどの高さまでに生長し、着々と元の松林へと再生の歩みを進めています。

当日は、早春の日差しの下、山脇清協議会会長のあいさつ、福岡市の原崎智仁市長、当署安永正治署長の祝辞などの開会式に続き、協議会会員による植え付けの説明が行われた後、参加者の皆さんは、用意された苗木とスコップなどを手に、植樹場所において植付作業を行いました。

参加者は、それぞれ家族や友人ごとに、一本一本健やかに育



健やかに育てと願いを込めて植樹する参加者

つようにとの願いを込めながら、丁寧に植樹を行い、1時間ほどで作業を終え、その後、地域の婦人会から提供された、温かい「ぜんざい」をいただきながら、松原の思い出やこれからの成長への思いなどを語り合っていました。

当署としては、津屋崎の松林が、これからも地域の方々により、末永く見守り続けられながら育っていくことを期待しています。

森づくり祭を開催

【宮崎森林管理署】3月4日、

宮崎市の一ツ葉海岸林において、当署と宮崎市みどり推進会議の共催により「平成29年度森づくり祭」を行いました。

この取組は、市民に身近な海岸林に親しみをもっていただくことを目的として、民国協働で毎年実施しているものです。

当日は、天候にも恵まれ、緑の少年団や市民ボランティア、報道関係の記者など約130人が作業に参加しました。

開催に当たり、当署飯干好徳署長及び宮崎市の木下忠男副市長から「一ツ葉海岸林は、海からの飛砂や潮などの被害から私たちのくらしを守るなど、とて



枝打ちを行う児童（左）と破碎実演を見学する参加（右）

も重要な役割を果たしています、皆さんで大切にしましょう」と挨拶がありました。

続いて、マツクイムシ被害木の破碎実演が行われ、参加者は破碎機から出てくる木片を、興味深く見学していました。

その後、ヘルメットとノコギリを受け取り、一斉にクロマツの枝打ち作業を行い、約1時間の作業でしたが、参加者は慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、無事に作業を終えました。

枝打ちした海岸林は見違えるようになり、今後の生育が期待されるところです。

伊佐市と協定を締結

【北薩森林管理署】3月9日、

伊佐市役所大口庁舎において、伊佐市長と当署長との間で、県内5例目となる「地域の安全確保に向けた森林情報の共有及び長期的森林の育成に関する協定書」の調印式を行い、伊佐市及び鹿児島県始良・伊佐地域振興局、報道関係者、当署職員など11人が出席しました。



調印を終え伊佐市長（左）と

協定締結に当たり、隈元市長から「国や市が、森林管理とともに災害などの発生時に情報を共有し、迅速な復旧を図ることは重要。また、鳥獣被害対策などにおいても、スムーズな情報共有ができる」と挨拶がありました。

また、前田署長は「伊佐市の国有林は、当署管内面積の4割を占めており、民国が連携して行くことが重要。さらに伊佐ヒノキなど優良な森林資源を有効活用していきたい」と挨拶し、調印式を終了しました。

官民協働で松くい虫駆除

【屋久島森林管理署・屋久島森林生態系保全センター】2月28日と3月1日、当署及び保全センターでは、屋久島ヤクタネゴヨウ調査隊（手塚賢至代表）との官民協働で、ヤクタネゴヨウ（※）自生地付近（波砂岳国有林内）で発生している、クロマツの松くい虫被害木駆除作業を行いました。

駆除作業は、当初28日で全て終了する予定でしたが、当日はあいにくの天候不順で、安全を考慮し作業しやすい林道脇の被害木について、当署・保全センター1職員15人調査隊10人の計25人により、伐倒・玉切りを行い、駆除した材は燃料用として、軽トラック4台分を焼き物の窯元に運びました。

翌1日には、当署・保全センター職員6人調査隊6人の計12人で、林道から約200m離れた被害木を伐倒した後、背負子で背負える大きさに玉切りし、急な斜面を苦労しながら何往復も背負って運び出し、前日同様窯元に運びました。



作業に参加した皆さん

に運びました。

官民協働の駆除作業は数年ぶりの実施となりましたが、協力隊からは「今回の取組は官民協働の新たな第一歩となった」「被害木が窯元で活用され無駄



背負子で運ぶ参加者

のない循環になった」などの意見が聞かれ、当署・保全センターと調査隊とは、今後更に連携を強化しながら、ヤクタネゴヨウの保全管理に努めていくことになりました。

「竹林整備と竹製品について」「木や森の話」「木工品作成（木製本立・木製イス）」を行いました。

また、今回の駆除作業の状況は、新聞に掲載されるなど、当署・保全センターの取組を広くPR出来る良い機会になりました。

また、自分だけの木製本立・木製イス作りでは、釘が曲がってしまったり、組み立てなどの慣れない作業の中、上級生が率先して下級生のサポートをする姿も見られ、終始笑顔のあふれる森林教室になりました。

（※）ヤクタネゴヨウは、屋久島と種子島にのみ自生する日本固有の種で、環境省RDの絶滅危惧種ⅠB類にランクされている希少種であり、屋久島ヤクタネゴヨウ調査隊を中心とした約18年間にもわたる調査により、現在、屋久島に約2500本、種子島に約300本が確認されています。

また、自分だけの木製本立・木製イス作りでは、釘が曲がってしまったり、組み立てなどの慣れない作業の中、上級生が率先して下級生のサポートをする姿も見られ、終始笑顔のあふれる森林教室になりました。

次世代の子供たちに木と子供のふれあい教室

【西都児湯森林管理署】当署では、西都市の3つの小学校を対象として、三年に一回の周期で森林教室を行っており、今年度は、西都市銀上学園において、2月23日に「木と子供のふれあい教室」を行いました。

当日は、気温が低く寒い中、小学1年生から中学3年生までの生徒20人を対象に、西都市役所、地元関係者の協力のもと



真剣に作業する子供たち

当署では、次世代を担う子供達が、森林の大切さと木の温もりを感じ体験できる、この貴重な取組を今後も続けていくこととしています。

人のうごき

☆3月31日付異動（退職）

うきは市

江上麻里子【企画調整課】
鹿児島県森林経営課

坂本徹也【西都児湯署】

（国研）九州育種場

後藤誠也【大分署】

（国研）九州整備局

後藤直哉【長崎署】

（国研）森林総合研究所九州支所

浜田雅代【総務課】

☆4月1日付異動

林野庁国有林野部業務課企画官

（国有林材安定供給担当）

田口 護【業務管理官】

業務管理官

林 視【計画保全部長】

計画保全部長

井口真輝【林野庁木材産業課

木材製器技術室長】

北海道局総務企画部長

中西 誠【鹿児島署長】

東北局盛岡森林管理署長

安永正治【福岡署長】

福岡森林管理署長

崎野健輔【林野庁経営企画課

国有林野生態系保

全室長】

大分森林管理署長

坂本和隆【中部局飛騨署長】

鹿児島森林管理署長

山口輝文【大隅署長】

大隅森林管理署長

井上智晴【林野庁研究指導課

課長補佐】

総務課長

山部義臣【森林整備課長】

経理課長

山本文雄【総務企画部専門官】

治山課長

赤星良治【治山技術専門官】

森林整備課長

鎌田敏雄【森林整備部企画官】

技術普及課長

桑原英隆【宮崎北部署次長】

林野庁林政課管理官（契約適正

化推進担当）

春日 智【計画保全部企画官】

総務企画部専門官（契約適正化

担当）

西林寺隆【林野庁国有林野部

企画官】

総務企画部専門官（債権管理担

当）

高村俊郎【総務課企画官】

計画保全部企画官（災害対策担

当）

乾 光一【林野庁管理課企画

官】

総務課企画官（安全衛生担当）

宮崎健次【北薩署次長】

森林整備部企画官（供給戦略担

当）

中村公治【宮崎南部署次長】

森林整備部企画官（技術開発担

当）

甲斐博文【技術普及課長】

計画保全部治山技術専門官

富永雄二【宮崎署次長】

計画保全部専門官（災害調整担

当）

林 友和【森林整備部企画官】

森林整備部企画官（自然再生担

当）

下田勝也【熊本南部署次長】

治山課災害対策専門官（鳥栖治

山事業所）

井 孝次【福岡署総括治山技

術官】

熊本南部森林管理署次長

高木周一【熊本署総括地域林

政調整官】

宮崎北部森林管理署次長

岩下哲博【総務課研修主任官】

西都児湯森林管理署次長

白濱正明【森林整備課課長補

佐】

宮崎森林管理署次長

久保幸治【西都児湯署次長】

宮崎南部森林管理署次長

野邊忠司【兵庫県神河町参事】

北薩森林管理署次長

築川伸一【宮崎署総括森林整

備官】

森林整備課課長補佐

後藤寿也【西都児湯署総括事

務管理官】



前 業務管理官
田口 護

◇転任挨拶◇お世話になりました

州局勤務のスタートでした。

思い起こせば、九州北部豪雨

での対応、ケーススタディーや

各県との意見交換会、フォーレ

スター活動、業界や大学等と連携

した先進的な取組など、「さす

が九州局」の一部を体験させて

頂きました。

また、出張の際に「若手職員

との意見交換」もさせて頂き、

楽しみはこれからという時の異

動でさみしい気持ちで一杯です。

九州森林管理局は森林、林業、

木材産業のフロントランナーで

す。先進的な取組がゆえの課題

等も多々ありますが、目的や目

指す姿を職員が共有して引き続

きチャレンジして下さい。その

際、まずは足下を確認し、仕事

の基本に立ち戻ってみることも

大切だと思えます。

特に安全については、関係者

一人ひとりが「やっければ良かった」

を「やっけて良かった」と

なるよう徹底することが大切で

す。

九州から日本の林業を変えて

いく気概をもって、更なる高み

を目指して、業務に取り組んで

下さい。頼りにしています。

私も、皆様方へ負けないよう、

ABC+D×E（当たり前の

ことを、馬鹿にしないで、ちゃ

んとやる、そしてできるまでや

る、笑顔で）をモットーにチャ

レンジ精神を忘れないで頑張り

たいと思っています。

皆様方のご健勝とご多幸とを

祈念し、転任の挨拶とします。

1年間ありがとうございました。

今後ともよろしくお願ひし

ます。

総務課研修主任官

本田博邦【環境省】

総務課広報主任官

廣石 功【保全課】

企画調整課企画官(情報システム管理担当)

村上國男【長崎署】

計画課森林施設調整官

下崎哲也【総務課】

計画課計画調整官

山岡文麿【環境省】

計画保全部生態系管理指導官

甲斐和幸【保全課】

治山課設計指導官

井 勝吉【林野庁】

治山課治山技術官(鳥栖治山事業所)

加来尚貴【近中局】

技術普及課企画官(民有林連携担当)

井上 正【宮崎署】

屋久島森林生態系保全センター専門官(森林整備課駐在)

本村明広【北薩署】

西表森林生態系保全センター生態系管理指導官(計画課駐在)

鍾水隆憲【沖繩署】

森林技術・支援センター森林技術普及専門官

釜 稔【都城支署】

総務課業務推進官

濱口絵里奈【経理課付】

総務課安全衛生係長

佐藤讓治【九州育種場】

企画調整課企画調整係長

井上欣勇【林野庁】

企画調整課林政推進係長

佐藤 剛【企画調整課】

経理課支出係長

煤本憲三【経理課】

経理課主計係長

秋吉勇二【長崎署】

経理課経理第一係長

田中 幸【技術普及課】

経理課経理第二係長

川部美奈子【森林総合研究所九州支所】

計画課経営計画官

岩下治喜【総務課】

計画課企画係長

山口隆志【計画課】

保全課森林利用係長

前川康弘【熊本署】

保全課保護係長

中川秀樹【北薩署】

治山課治山技術官

西山太英【熊本南部署】

治山課治山技術官

橋口逸成【治山課】

治山課治山技術官

村田修也【治山課付】

計画保全部(鳥栖治山事業所)

高倉大斗【治山課】

森林整備課企画係長

羽野誠一郎【森林整備課】

森林整備課分収林係長

藤原敬士【福岡署】

森林整備課路網計画係長

野田誠治【北薩署】

資源活用課供給計画係長

池水寛治【森林技術・支援センター】

技術普及課企画係長

古澤寿光【経理課】

熊本署森林技術指導官

松永善人【北薩署】

大分署森林技術指導官

植薄和彦【屋久島署】

宮崎署森林技術指導官

下村治雄【鹿児島署】

北薩署森林技術指導官

吉田弘幸【宮崎北部署】

屋久島署森林技術指導官

一口竜也【治山課】

熊本署総括地域林政調整官

藤原昭博【近畿中国局】

長崎署地域林政調整官

東 誠也【沖繩署】

宮崎署地域林政調整官

内村圭一【技術普及課】

沖繩署地域林政調整官

山上哲幸【大分署】

長崎署総括事務管理官

中村雄二【計画課】

大分西部署総括事務管理官

有吉正司【宮崎北部署】

宮崎北部署総括事務管理官

本田勝美【沖繩総合事務局】

西都児湯署総括事務管理官

余瀬秀一【経理課】

沖繩署総括事務管理官

古澤竜喜【大分西部署】

大分署総括森林整備官

高倉邦彦【大分西部署】

宮崎署総括森林整備官

森 正文【大隅署】

鹿児島署総括森林整備官

平生陽介【大隅署】

大隅署総括森林整備官

福山親幸【都城支署】

福岡署総括治山技術官

下池和彦【鹿児島署】

西都児湯署総括治山技術官

屋久島署総括治山技術官

浅尾純治【屋久島署】

熊本署主任事務管理官

清田 誠【計画課】

宮崎署都城支署主任事務管理官

萩岡茂治【熊本署】

北薩署主任事務管理官

堂園浩睦【都城支署】

佐賀署主任森林整備官

祐野誠治【長崎署】

佐賀署主任森林整備官

石田義幸【佐賀署】

長崎署主任森林整備官

山口辰郎【佐賀署】

熊本署主任森林整備官

上田益大【技術普及課】

熊本南部署主任森林整備官

緒方省一郎【宮崎署】

熊本南部署主任森林整備官

小谷 豊【計画課】

大分署主任森林整備官

井上和也【佐賀署】

大分西部署主任森林整備官

荒木逸郎【西都児湯署】

宮崎署主任森林整備官

藤田康孝【西都児湯署】

宮崎署都城支署主任森林整備官

阿部一元【森林整備課】

宮崎署都城支署主任森林整備官

平田謙吉【屋久島署】

西都児湯署主任森林整備官

黒田伸博【屋久島署】

北薩署主任森林整備官

福岡直樹【五木村】

新規採用者紹介

一子石文字(総務課)

永井純一(森林技術・支援センター)

林 結実(福岡署)

溝口英聖(佐賀署)

高橋陽介(長崎署)

木下昴大(大分署)

長尾楓花(大分西部署)

奥田絢子(都城支署)

山本佑主(宮崎北部署)

豊泉拓磨(西都児湯署)

片野翔太(鹿児島署)

赤星光希(北薩署)

石原春菜(大隅署)

山口 聖(屋久島署)

大隅署主任森林整備官
那須芳広【都城支署】
大隅署主任森林整備官
嶋崎国浩【都城支署】
屋久島署主任森林整備官
後藤一哉【大分署】
屋久島署主任森林整備官
吉村浩一【福岡署】
鹿兒島署主任治山技術官
江口 晃【治山課】
福岡署事務管理官
濱本敬士【福岡署】
佐賀署事務管理官
吉坂雅夫【佐賀署】
長崎署事務管理官
市原増雄【総務課付】
長崎署事務管理官
下村龍也【長崎署】
熊本署事務管理官
江藤香織【熊本署】

鹿兒島署事務管理官
松本慎剛【屋久島署】
北薩署事務管理官
柏木和美【北薩署】
大隅署事務管理官
稲員友樹【鹿兒島署】
福岡署森林整備官
藤井武史【福岡署】
佐賀署森林整備官
宮島貴文【長崎署】
長崎署森林整備官
真野康彦【長崎署】
熊本署森林整備官
猪島浩晴【計画課】
熊本署森林整備官
大山昭一【熊本署】
熊本南部署森林整備官
井上祐二郎【熊本南部署】
大分署森林整備官
蒲池勝也【保全課】

宮崎署都城支署森林整備官
久木田一光【都城支署】
宮崎北部署森林整備官
渡邊 明【宮崎北部署】
宮崎南部署森林整備官
中川邦男【宮崎南部署】
西都児湯署森林整備官
塩谷幸子【林野庁】
北薩署森林整備官
立久保さとみ【北薩署】
宮崎署都城支署治山技術官
江口誠也【都城支署】
福岡署地域統括森林官
田中和利【西表森林生態系保
全セクター（計画
課駐在）】

宮崎南部署地域統括森林官
上別府悟【鹿兒島署】
宮崎北部署地域統括森林官
春山 司【熊本署】

高木信哉（宮崎南部署）
下岩 守（鹿兒島署）
馬場智宏（大隅署）

尾前信男（熊本署）
西川健一（熊本署）
西 修（宮崎署）
井上哲也（宮崎署）
坂元昌和（都城支署）
野邊知良（宮崎南部署）
井立田和則（北薩署）
佐藤孝幸（北薩署）
田中敏明（大隅署）

鹿兒島署地域統括森林官
吉川慶一【宮崎署】
福岡署首席森林官
山口昌幸【北薩署】
長崎署首席森林官
中島龍太【長崎署】
長崎署首席森林官
本山 巖【長崎署】
長崎署首席森林官
森 浩【福岡署】
熊本南部署首席森林官
福田錦吾【長崎署】
宮崎署首席森林官
小川義則【西都児湯署】
宮崎署首席森林官
立場宏一【経理課】
宮崎署都城支署首席森林官
村木信一郎【熊本南部署】
宮崎南部署首席森林官
梶丸正幸【森林技術・支援セ
クター】

宮崎南部署首席森林官
松元正三郎【屋久島署】
西都児湯署首席森林官
岩上 勇【大分署】
屋久島署首席森林官
友栗 誠【大隅署】
福岡署森林官
平松大志【佐賀署】
佐賀署森林官
山部清人【宮崎南部署】
長崎署森林官
宮本一朗【大隅署】

長崎署森林官
宮下尚己【大隅署】
熊本南部署森林官
小山雄平【西都児湯署】
熊本南部署森林官
江口保広【熊本南部署】
宮崎署都城支署森林官
森 俊之【長崎署】
宮崎署都城支署森林官
岩崎貴子【都城支署】
宮崎署都城支署森林官
園田節朗【都城支署】
西都児湯署森林官
椎葉智史【西都児湯署】
北薩署森林官
川畑勇二【北薩署】
大隅署森林官
飯星光吉【熊本南部署】
屋久島署森林官
志戸祐二【都城支署】
福岡署地域技術官
小野稔和【鹿兒島県】
佐賀署地域技術官
一山祐子【佐賀署】
長崎署地域技術官
永野達也【屋久島署】
熊本署地域技術官
北里春香【技術普及課】
熊本南部署地域技術官
伊藤明雄【長崎署】
宮崎署地域技術官
石綿深志【宮崎署】
宮崎署都城支署地域技術官
森本博之【大隅署】

《退職》長い間「苦勞も多かった

3月31日付退職

◇定員内職員◇

古閑博行（総務課）
山本一則（経理課）
上原暁光（経理課）
山下和也（治山課）
山下 正（森林整備課）
佐藤英也（計画課）
井上信義（福岡署）
山口照秋（長崎署）

岡本政秀（熊本署）
押方清隆（熊本南部署）
村上敏彦（熊本南部署）
松崎正一（熊本南部署）
松井郁弥（大分西部署）
川畑宏二（大分署）
渡辺行直（大分署）
出水 広（宮崎署）
宇野裕和（宮崎署）
野田秀治（都城支署）

◇定員外職員◇

馬場智宏（大隅署）
尾前信男（熊本署）
西川健一（熊本署）
西 修（宮崎署）
井上哲也（宮崎署）
坂元昌和（都城支署）
野邊知良（宮崎南部署）
井立田和則（北薩署）
佐藤孝幸（北薩署）
田中敏明（大隅署）

宮崎署都城支署地域技術官
 下田悠介【経理課】
 宮崎北部署地域技術官
 小崎凌平【宮崎北部署】
 宮崎南部署地域技術官
 平生 竜【宮崎南部署】
 北薩署地域技術官
 高森公章【都城支署】
 北薩署地域技術官
 藤川涼一【宮崎南部署】
 大隅署地域技術官
 鶴山喜之【佐賀署】
 大隅署地域技術官
 山口雄大【大隅署】
 屋久島署地域技術官
 三國稔典【大分署】
 沖繩署地域技術官
 関矢敬介【宮崎北部署】
 企画調整課係員
 山本遼平【林野庁】
 経理課係員
 松本知子【総務企画部付】
 計画課係員
 中嶋丈貴【うきは市】
 計画課係員
 藤本泰樹【林野庁】
 計画課係員
 古川翔太【熊本署】
 長崎署係員
 伊藤玲奈【林野庁】
 長崎署係員
 辻田優衣【大分西部署】
 熊本署係員
 川口凌真【福岡署】

熊本署係員
 西田卓矢【沖繩署】
 大分署係員
 橋本浩次郎【佐賀署】
 大分西部署係員
 小野千華【鹿児島署】
 大分西部署係員
 野田真治【西都児湯署】
 宮崎署係員
 室木直樹【宮崎署】
 宮崎署都城支署係員
 渋谷昂大【企画調整課】
 西都児湯署係員
 松村大地【熊本南部署】

北薩署係員
 伊藤 翼【計画課】
 屋久島署係員
 松井涼太【熊本署】
 環境省出向
 歌野博幸【熊本署】
 環境省出向
 宮木利浩【企画調整課】
 内閣府出向
 倉本雅則【宮崎署】
 林野庁林政部林政課
 寺川勝司【総務課】
 林野庁森林整備部計画課
 尾近 茂【資源活用課】

林野庁国有林野部管理課
 立山計司【大分西部署】
 林野庁国有林野部管理課
 山下誠吾郎【森林整備課】
 林野庁国有林野部経営企画課
 都賢太郎【長崎署】
 林野庁国有林野部業務課
 和田治仁【治山課】
 近畿中国局石川署
 浜辺元氣【治山課】
 近畿中国局鳥取署
 儀崎愛永【都城支署】
 (担当) 総務課



庭園や街路樹に植えられる常緑高木で、誰でも知っている樹木です。

幹は直立し、太い枝は水平に広がり多く分岐し、剪定しなくても樹の全体の姿が円錐形と、素晴らしく美しい樹形となります。

樽形のきゅう果は、直立して帯緑褐色、成熟すると中軸からバラバラになって飛散します。そのため、落下したマツカサを見ることはできません

鱗片が飛んだ枝には、きゅう果の中軸が、五寸釘を逆さに打ち付けたように最下の鱗片上に残っていますが、やがて落下し

125 ヒマラヤスギ(マツ科)

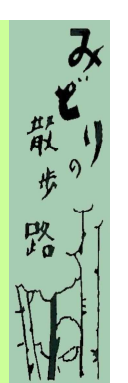
産地は西ヒマラヤからアフガニスタン東部が原産地で、産地では建築・土末・家具に広く用いられます。しかし、日本は原産地より雨が多いので、生育は良いですが、材は水分に富み観賞用に植えるだけで材には利用されません。

マツ科なのにスギの名前になったのは、Cedarを英語読みして日本語に訳すときに、スギと訳したのが原因だそうです。

葉は、短枝には束生し長枝にはらせん状に散生します。葉は針形で断面は鈍三角形か円形、白色の気孔線があり、カラマツ



の葉の付き方によく似ています。



さあ今月号から平成三十年度の始まりです「広報九州」を引き続きよろしく願いいたします▼熊本市内では半年より六日早く三月十七日の桜(ソメイヨシノ)の開花宣言、「休眠打破」がうまく合ったのか今年の桜は例年に比べたいへん美しかったと感じました、しかし、数日で早くも散ってしまい「地球温暖化」の影響なのか、もう少し満開期間が長ければと思うところでした▼春は出会いと別れの季節でもあります「よろしくお願ひします」「お世話になりました」また「お元気で」あちらこちらから飛び交う笑い声や涙声が始まったと感じました▼新社会人のみなさんへ、たくさんの経験を踏んで充実した楽しい生活を送ってください▼今月から私も初めて広報担当を携わります、また、みなさんから地域の話題や情報と活気ある写真、美しい写真が集まるのか楽しみにしています▼最後に読者のみなさんへ、担当として紙面充実に努めますので、森林・林業に関する様々な記事の投稿をどうかよろしくお願ひいたします(広)